



☑ 詐欺の予兆電話にご注意ください！

事例 年金課職員をかたり、「年金の払い戻しがある」、「年金が振込まれている金融機関名を教えて」、「あとで電話するので通帳やキャッシュカードを用意しておいて」といった電話や、「介護保険料の還付がある」と言ってATMへ誘導しようとするなど、高齢女性を狙った予兆電話が県内で発生するという事例がありました。
★不審な電話がかかってきた場合は、すぐに切るか警察に相談してください。

☑ 補聴器の購入は慎重に！

事例 眼鏡店で受けた聴力測定結果から「早めに補聴器をつけないと認知症になりやすい」と言われ、約40万円ですぐに購入した。しかし後日、専門医に測定してもらったところ、補聴器は必要ないと言われた。(60歳代 女性)
★補聴器を購入する前には、自分の「聞こえ」の状態や補聴器が必要か等について、まずは専門医の診断を受けましょう。
★「聞こえ」が十分でない高齢者は、販売員とのコミュニケーションが難しい場合があります。購入時には、家族など周りの人にサポートを求めましょう。
困ったときは、福井県消費生活センターまたは役場総務課にご連絡ください。

■問合せ 福井県消費生活センター TEL 0776-22-1102 総務課 ☎ 0778-47-8000



地域包括支援センターです

■問合せ 地域包括支援センター(保健福祉課内) ☎ 0778-47-8009
社会福祉協議会地域包括支援センター(今庄福祉センター2階) ☎ 0778-45-1170
// 河野支所(河野保健福祉センター1階) ☎ 0778-48-2260

認知症について知ろう！ パート1

認知症とは？ 「認知症」と聞くと、どんなイメージがありますか？「年だから仕方ない」というイメージが多いかもしれませんが、認知症は何らかの病気によって脳の神経細胞がうまく働けなくなり壊れるために日常生活で支障をきたす状態をいい、「年をとるとなる」ものではありません。また「認知症」は総称であり、いくつかの種類があります。代表的なものに「アルツハイマー型認知症」があり、認知症患者の約50パーセントを占めます。
早期発見のめやすは？ 認知症は早く気づいて対応することが重要です。下記の表でいくつかあてはまることがあれば、かかりつけ医や地域包括支援センターまでお気軽にご相談ください。早く気づいて対応することで、病気の進行を遅らせたり、治療により症状を和らげたりすることができます。



家族がつくった 「認知症」早期発見のめやす

いくつか思い当たることがあれば、かかりつけ医などに相談してみることがよいでしょう。

- | | |
|--|---|
| <p>もの忘れがひどい</p> <ul style="list-style-type: none"> ☐ 1. 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる ☐ 2. 同じことを何度も言う・問う・する ☐ 3. しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている ☐ 4. 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う | <p>人柄が変わる</p> <ul style="list-style-type: none"> ☐ 11. 些細なことで怒りっぽくなった ☐ 12. 周りへの気づかいがなくなり頑固になった ☐ 13. 自分の失敗を人のせいにする ☐ 14. 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた |
| <p>判断・理解力が衰える</p> <ul style="list-style-type: none"> ☐ 5. 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった ☐ 6. 新しいことが覚えられない ☐ 7. 話のつじつまが合わない ☐ 8. テレビ番組の内容が理解できなくなった | <p>不安感が強い</p> <ul style="list-style-type: none"> ☐ 15. ひとりになると怖がりたり寂しがったりする ☐ 16. 外出時、持ち物を何度も確かめる ☐ 17. 「頭が変になった」と本人が訴える |
| <p>時間・場所がわからない</p> <ul style="list-style-type: none"> ☐ 9. 約束の日時や場所を間違えるようになった ☐ 10. 慣れた道でも迷うことがある | <p>意欲がなくなる</p> <ul style="list-style-type: none"> ☐ 18. 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった ☐ 19. 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった ☐ 20. ふさぎ込んで何をしても億劫がいりやがる |

(出典／公益社団法人認知症の人と家族の会作成)